

令和 6 年度 行橋市中学校国際交流事業 事業報告書

行橋市中学校国際交流事業実施協議会

目次

1. 受入事業概要.....	1
2. 来訪者名簿	2
3. ホストファミリー名簿.....	3
4 行橋市訪問スケジュール.....	4
5. 活動の様子	5
6. ホストファミリーアンケート結果	10
7. おわりに	14

1.受入事業概要

①目的

「グローバルな視点を持ち、夢に向かってチャレンジする子ども」を育てるために、行橋市の中学生とN Y市グレイス・チャーチ・スクールの中学生が相互に訪問し、学校体験やホームステイを実施することを通して、教育・文化・生活の違いを体験し、異文化理解や英会話力等、豊かな国際感覚を身につけさせることを目的として行う。

②主催 行橋市教育委員会
 行橋市中学校国際交流事業実施協議会

③交流校 アメリカ合衆国 ニューヨーク州 ニューヨーク市
 グレイス・チャーチ・スクール(Grace Church School)

④滞在期間 令和6年6月15日(土)～6月22日(土)
 ※各家庭での滞在期間は6月21日(金)まで

⑤来訪者・ホストファミリー
 (グレイス・チャーチ・スクール)
 生徒(中学1年生～中学2年生) 14名(男子4名 女子10名)
 引率者 2名
 計16名

 (ホストファミリー)
 行橋中学校 2家庭
 中京中学校 1家庭
 泉中学校 6家庭
 今元中学校 1家庭
 仲津中学校 1家庭
 長峡中学校 3家庭
 計14家庭

⑥宿泊先 各ホストファミリー宅
 ※6月21日(金)は行橋市研修センター

⑦受入内容 ①ホームステイ
 ②市内中学校体験
 ③行橋市内等視察

2.来訪者名簿

< 生徒名簿 >

	First	Last Name	Grade	Male/Female
1	Massimo	Bianchi	Grade 8	Male
2	Sanders	Blanck	Grade 8	Male
3	Kafi	Byron	Grade 8	Female
4	Nancy	Chung	Grade 8	Female
5	Mazie	Dilley	Grade 8	Female
6	Oona	Doolan	Grade 8	Female
7	Sasha	Fazal	Grade 7	Female
8	Sophie	Lipman	Grade 8	Female
9	Philip	Molina	Grade 8	Male
10	Sydney	Olley	Grade 7	Female
11	Stella	Pham	Grade 7	Female
12	Phebe	Phojanakong	Grade 7	Female
13	Mathis	Ricaud	Grade 8	Male
14	Bellamy	Stapleton	Grade 7	Female

< 引率者名簿 >

	First	Last Name	Grade	Male/Female
1	Peggy	Chan	Adult	Female
2	Amber	Ward	Adult	Female

3.ホストファミリー名簿

	生徒氏名	学校名	学年
1	石野 匠真	泉中学校	1
2	川上 仁ノ介	行橋中学校	2
3	大和 杏萌	泉中学校	3
4	猿渡 寛之	泉中学校	3
5	小野本 奈央	泉中学校	3
6	軸丸 心詩	泉中学校	3
7	森山 結愛	中京中学校	3
8	山之内 宏	仲津中学校	3
9	渕上 琴子	行橋中学校	2
10	濱島 美空	泉中学校	3
11	國永 暖笑	今元中学校	2
12	野田 千愛	長峡中学校	2
13	後藤 珠海	長峡中学校	3
14	泉 柑凧	長峡中学校	3

4.行橋市訪問スケジュール

日	曜日	時間	発着/滞在地	行程
15	土	9:30	北九州空港	ホストファミリーが北九州空港 集合
		9:45 10:30		グレイス・チャーチ・スクール（GCS）生徒が北九州空港 着 ホストファミリーとの対面 各家庭へ 【ホームステイ 1 日目】
16	日			各家庭にて過ごす 【ホームステイ 2 日目】
17	月		各家庭→各学校	中学校体験入学（～6/21まで） 【ホームステイ 3 日目】
18	火		各家庭→各学校	中学校体験入学 【ホームステイ 4 日目】
19	水		各家庭→各学校	中学校体験入学 【ホームステイ 5 日目】
20	木	8:30	各学校→現地	行橋市内等視察（GCSの生徒のみ） 各学校 発 市内視察（平尾台→長井浜→正八幡宮） 平尾台…千仏鍾乳洞探検・万華鏡作り・平尾台散策 ↓ 長井浜…ビーチ散策 ↓ 正八幡宮…GCSへお土産として渡したお神礼の説明+お参り ↓
		16:00	現地→各学校	各学校 着 【ホームステイ 6 日目】
21	金	17:15	各家庭→各学校	中学校体験入学
		18:00 19:30	行橋市中央公民館 行橋市中央公民館	学校終了後、ホストファミリーと集合 フェアウェルパーティー開始 フェアウェルパーティー終了 【研修センター 泊】
22	土	6:30	行橋市研修センター	行橋市研修センター 発
		7:09	行橋駅	行橋駅 発 GCSの生徒お見送り （ホストファミリーが行橋駅ロビーに集合）

5.活動の様子

◎北九州空港到着

6月15日（土）9時45分にGCSの生徒が北九州空港に到着しました。

ホストファミリーの皆さんは受入生徒のうちわや、ネームボードを作っており、到着を待ち望んでいる姿が伺えました。



◎市長表敬訪問

6月17日（月）は、引率者が市長への表敬訪問を行いました。記念品としてGCSのキーホルダーや手帳をいただきました。



◎各ホストファミリーとの交流

それぞれの家庭で6日間過ごしました。
文化や食の違いに驚くこともありましたが、充実した生活を送ることができました。
また、田植えや瓦そばを食べたり日本ならではの体験も行い、ホストファミリーと過ごした時間は忘れられないものとなりました。



◎市内中学校体験

6月17日（月）からはホストファミリーと一緒に学校へ通い、日本の中学校の授業を体験しました。
ホストファミリーの生徒をはじめ、本市の中学生たちと楽しく授業を受ける様子が伺えました。
日本の中学生たちとも仲良くなり、翻訳アプリやジェスチャーを使って、一生懸命コミュニケーションをとって交流を深めていました。



◎行橋市内等視察

6月20日（木）はGCSの生徒は行橋市内の視察を行いました。平尾台では、鍾乳洞探検や万華鏡作りを体験したり、正八幡宮では、お参りをしたりと日本の文化などを体験しました。また、GCSの生徒は海を見る機会があまりないようで、長井浜では存分に楽しんでいました。あいにくの曇り空でしたが、市内等視察を1日中楽しむことができました。



【千仏鍾乳洞探検】



【千仏鍾乳洞探検】



【平尾台での昼食】



【平尾台での万華鏡作り】



【平尾台での万華鏡作り】



【長井浜】



【長井浜】



【正八幡宮】



【正八幡宮】

◎フェアウェルパーティー

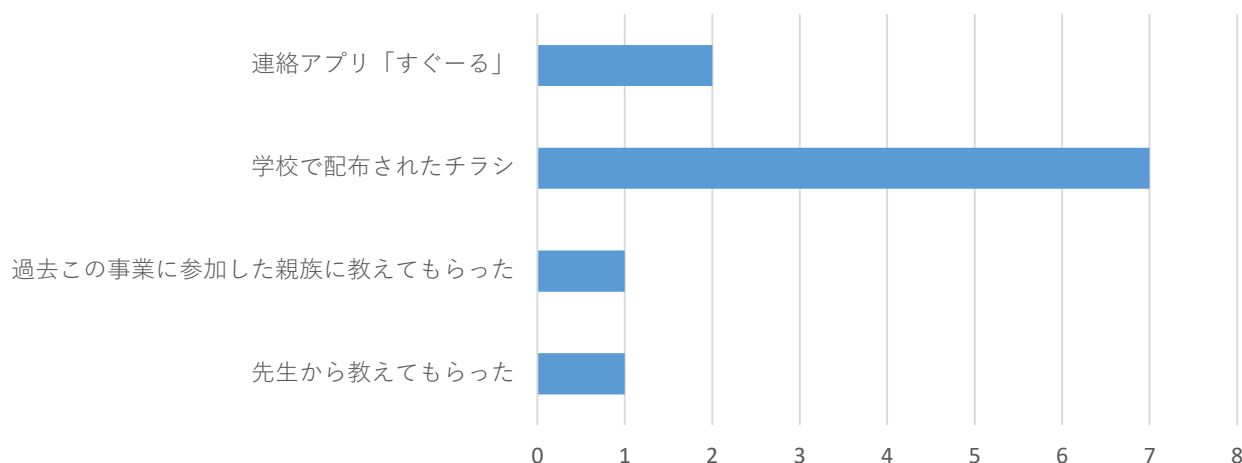
ホームステイ最終日となる6月21日（金）は行橋市中央公民館でフェアウェルパーティーを開催しました。この日がホストファミリーと過ごす最後の時間となり、お別れを惜しむ様子が伺えました。家族の一員としてホストファミリーが温かく迎え入れてくれたおかげで、行橋市での滞在が思い出に残るものとなりました。



6.ホストファミリーアンケート結果

◎生徒分（回答者11名/14名）

本事業を最初にどこで知りましたか。



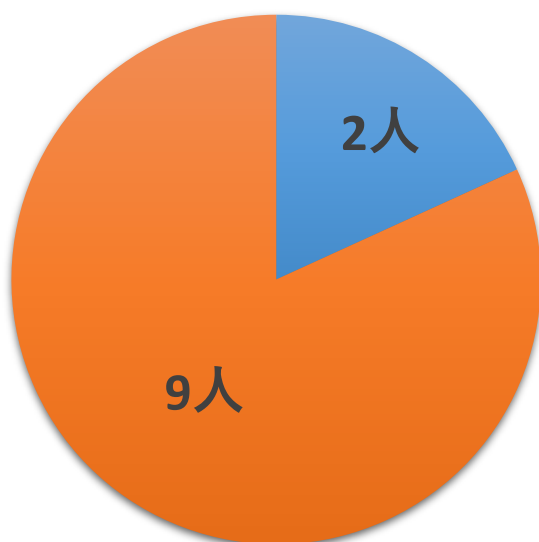
**今回の経験を通して、英語に対する意識や自身の進路に対する意識に変化はありましたか。
また、どう変化したのかご記入ください。**

- ・発音の難しさを痛感したが、海外に行ってみたいと思うようになった。
- ・もともと通訳になりたい夢があったのでさらに思いが強くなりました。
- ・外国人とは最初はコミュニケーションが取れず、翻訳機を使って会話をしていたが3日目ぐらいから、翻訳機無しで会話することが出来たので、英語は簡単に伝えればという気持ちになって、外国人と話すのは苦ではなくなった。
- ・もっと英語を勉強して、相手の言っている事がアプリ通訳無しで分かるようになりたい。
- ・今まで以上にもっと英語でコミュニケーションがとれるようになりたいと思った。

ホームステイ中に家庭で何か困ったことはありましたか。

- ・ コミュニケーションを取るのが難しかった。
- ・ 何をしたら良いかわからなかった。
- ・ 少し言葉が通じなかった。
- ・ GCSの生徒が最初、具合が悪かったので心配でした。
- ・ 食べ物の好き嫌が多く、簡単な単語で話してくれなかった。
中間テストの期間と被ってしまったのでテスト勉強が出来なかった。

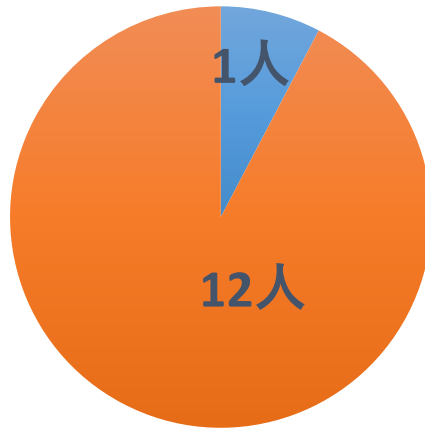
グレイス・チャーチ・スクールの生徒と英語を使って会話はできましたか。



■ よくできた ■ できた

◎保護者分（回答者13名/14名）

お子様をこの事業に参加させて良かったですか。



■ あまりよくなかった

■ 非常に良かった

**上の質問でお答えいただいた理由をご記入ください。
また、受入後のお子様の様子を見て、ご意見・ご感想がございましたらご記入ください。**

- ・ 受入前に比べて、苦手だった英語に対する気持ちが変わっています。意見として、受け入れ家庭に少しでもいいので補助金等の支給や支援をお願いしたいです。それと、全学校に平等に行ってほしいです。
- ・ 子どもののびしろの凄さを実感し英語でコミュニケーションをはかることに子ども自身に気づきがあったこと。
- ・ 一生懸命にサポートをしようと頑張っていました。また、帰国した後も連絡を取り合っているようで、返信があるたびに嬉しそうな姿を見るにつけ、受け入れて良かったと思います。
- ・ 普段は学校の授業以外で英語や外国の文化に触れることがなかなか無いので、非常にいい経験をさせて頂きました。
- ・ 共有できる話題や食事も難しく、とても難しい体験でした。

ご家庭として、ホームステイの受け入れを行って良かったことをご記入ください。

- ・滞在期間中は楽しんでもらおうとそれぞれが考え、いつも以上に会話が増え協力しあえた事が良かったです。
- ・家族全員が、受け入れた子供とコミュニケーションを取ろうと、英語やジェスチャーを使いながら頑張れたこと。
- ・意識しないとコミュニケーションはとれないものだと、改めて感じました。
- ・通訳アプリを使いながらでしたが、英語で会話する事が出来ました。受け入れていなかったらこんな機会はなかったです。
- ・自分も含めて、家族全員が英語に対して積極的になりました。

事前の準備やホームステイ中に困ったことや迷ったことがあれば、ご記入ください。

- ・初日にお迎えが必要であるとか、フェアエルパーティがあるなど仕事の都合をつけないければならないような予定は、申し込み前に教えて欲しかった。
- ・本当に疲れているのか遠慮しているのか分からなかった。言いたい事や伝えたい事を遠慮なく伝えて欲しかった。
- ・日本の学校の様子をグレイスチャーチスクールの生徒に丁寧に伝えてほしいです。今まで行橋に来た生徒から様子を伝えてもらうなどしてもらえると、少しは不安が減るかと思います。
- ・事前に相手にメールをしたがなかなか返信がなくて心配になったこと。

7.おわりに

今回の国際交流事業（受入）は、コロナ禍の影響により令和2年度から事業を中止をしていたが、前回実施した平成30年度から6年ぶりに再開することができた。

6年ぶりということもあり、過去の実績を参考にしながら、試行錯誤して計画を進めてきた。ホストファミリーの生徒たちは、事前にGCSの生徒と連絡をとって情報収集を行ったり、ホームステイ期間中には思っていることを「英語で」伝えようと懸命に努力し、英語に対して積極的にチャレンジする姿を見ることができた。一方、GCSの生徒については、ホストファミリーが家族の一員として温かく迎え入れてくれ、それぞれの家庭で日本の文化の体験ができたと考える。また、本市の中学校への体験を通じて、ホストファミリー以外の生徒たちとも、ジェスチャーを交えて交流を図っていた。

事後アンケートにおいては、生徒たちは「今まで以上にもっと英語でコミュニケーションがとれるようになりたい」、「ネイティブの発音を身につけたい」、「もともと通訳になりたい夢があったのでさらに思いが強くなった」などの意見があり、英語に対する意識の変化や将来像の明確化に繋がったと思う。また、保護者においても「普段は学校の授業以外で英語や外国の文化に触れることがなかなか無いので、非常にいい経験ができた」、「家族全員が、受け入れた子供とコミュニケーションを取ろうと、英語やジェスチャーを使いながら頑張れた」など家族で協力してコミュニケーションをとる姿勢が感じられた。

以上のことから、受入を行った生徒やその家庭にとっては、事業効果が大きいと考えられ、特に、外国人の生徒を受け入れることで、「異文化に触れる機会の創出」、「英会話実践の場の提供」、「コミュニケーション能力の育成」に寄与している。これからも、より多くの生徒にこのような経験をしてもらいたいと思う。

しかし、一方で、ホストファミリーへの応募が少ないことや、ホストファミリーにとっては、経済的なものを含めて一定の負担が求められることなど、受入体制の確保に向けた検討が必要である。今後も、事業を継続して実施し、グレイス・チャーチ・スクールと行橋市が、お互いの連携・理解を深め、さらなる発展に繋がっていきたいと考える。

